

殺法轉輪

全

特別
14
696
197



197
696
197

殺法轉輪上之卷目錄

- 一 備前宰相忠雄卿家之渡邊觀有河合全良事 附 正宗刀之事
- 一 渡邊河合正宗刀所望之事 附 河合渡邊討事
- 一 河合立退荒井露正郎殿江走込事 附 御旗本中同心二味之事
- 一 從忠雄卿荒井殿江河合請取行事 附 延川團右衛門切腹之事
- 一 宰相忠雄卿御一家徒黨之事
- 一 松平伊豆守殿支附 忠雄卿逝去并及御一門諸上遺言之事
- 一 御旗本寺入之事 附 從公義御書付出事并河合追放之事
- 一 忠雄卿長子相摸守殿家督之事 附 於殿中首腹之事

小寺姓
玉足文庫



- 一 渡邊數馬仇討出軍附本多氏記殿家荒木又右衛門出所之事
 - 一 渡邊於和州荒木對面之事
 - 一 荒木助方出軍附從內記殿御腰物被下事并櫻井甚左衛門殘書集
 - 一 內記殿於御前荒木櫻井仕合之事附荒木平柄之事
- 殺法轉輪下之卷目錄

- 一 櫻井仇討後見出軍附同第是助御殿被下事
- 一 櫻井兄弟於攝州大坂渡邊荒木對面附兩士江戸下向之事
- 一 河谷為見繼櫻井兄弟其外圍人從州相良口赴事
- 一 荒木渡邊再一方發定附藤堂美學頭殿家丞梶原氏為餞別送事

- 一 於三州三嶋荒木櫻井出軍附三嶋明神口參詣之事
- 一 荒木遠州於白須賀櫻井口見失事
- 一 櫻井兄弟河邊對面附荒木家乘浪藤武兵衛櫻井家人見出軍
- 一 於伊州上野仇討櫻井兄弟最期之事
- 一 於上野城下双方鍵合之事
- 一 上野城下仇討國主口御人殺被出軍附河谷實期之事
- 一 名山添浪勝討死星合段四郎被討事
- 一 大學殿相摸殿口事論之事附池田家主荒尾閑東下向之事
- 一 大坂御城代阿部備中守口從藤堂渡邊荒木兩士被指上事

月をて海りたる果は海にわたるに似たりといふはたしなまのり
都外を近敷西房万はたふりて今も此の地をたふりては果物ては打浪は法思わく
樹上たれは侍と事してとて地高の地すの事なれは果ては武蔵の地とては
とて高が樹流は海に流るる事とて是も法にたれは高が流るる事とては
都外を近敷西房万はたふりて今も此の地をたふりては果物ては打浪は法思わく
樹上たれは侍と事してとて地高の地すの事なれは果ては武蔵の地とては
とて高が樹流は海に流るる事とて是も法にたれは高が流るる事とては
都外を近敷西房万はたふりて今も此の地をたふりては果物ては打浪は法思わく
樹上たれは侍と事してとて地高の地すの事なれは果ては武蔵の地とては
とて高が樹流は海に流るる事とて是も法にたれは高が流るる事とては

書に於ては海に流るる事とては果物ては打浪は法思わく
都外を近敷西房万はたふりて今も此の地をたふりては果物ては打浪は法思わく
樹上たれは侍と事してとて地高の地すの事なれは果ては武蔵の地とては
とて高が樹流は海に流るる事とて是も法にたれは高が流るる事とては
都外を近敷西房万はたふりて今も此の地をたふりては果物ては打浪は法思わく
樹上たれは侍と事してとて地高の地すの事なれは果ては武蔵の地とては
とて高が樹流は海に流るる事とて是も法にたれは高が流るる事とては

海に流るる事とては果物ては打浪は法思わく

海に流るる事とては果物ては打浪は法思わく
都外を近敷西房万はたふりて今も此の地をたふりては果物ては打浪は法思わく
樹上たれは侍と事してとて地高の地すの事なれは果ては武蔵の地とては
とて高が樹流は海に流るる事とて是も法にたれは高が流るる事とては
都外を近敷西房万はたふりて今も此の地をたふりては果物ては打浪は法思わく
樹上たれは侍と事してとて地高の地すの事なれは果ては武蔵の地とては
とて高が樹流は海に流るる事とて是も法にたれは高が流るる事とては

此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり

此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり
此世に於ては諸事皆成すべしと云ふは其の理なりと云ふは其の理なり

源文行乃足 継修年并 小園 延三 列 亦良 也

三才の意

天地人三才の理を論じて、万物の生長を説く。

草木の生長は、土の肥れと水の潤いによる。土は天の気を受け、水は地の気を受け、草木は天地の気を養われ、生長する。此の理は、万物に通ずる。

天地の気は、四季を通じて循環する。春は生、夏は長、秋は收、冬は蔵。此の理は、万物の生長の根本である。

天地の理は、万物の生長の根本である。草木の生長は、土の肥れと水の潤いによる。土は天の気を受け、水は地の気を受け、草木は天地の気を養われ、生長する。此の理は、万物に通ずる。

存心博愛之方其心之同也... 此後... 存心博愛之方其心之同也... 此後... 存心博愛之方其心之同也... 此後...

存心博愛之方其心之同也... 此後... 存心博愛之方其心之同也... 此後... 存心博愛之方其心之同也... 此後...

存心博愛之方其心之同也... 此後... 存心博愛之方其心之同也... 此後... 存心博愛之方其心之同也... 此後...

存心博愛之方其心之同也... 此後... 存心博愛之方其心之同也... 此後...

存心博愛之方其心之同也... 此後... 存心博愛之方其心之同也... 此後... 存心博愛之方其心之同也... 此後...

新注新物下の巻序

連城
集



